

第3回白馬村地域公共交通検討委員会 議事録

日 時	令和6年12月26日(木) 午前13時00分～午後15時00分	
開催場所	白馬村役場 201.202 会議室	
委員長	吉田 久夫	白馬村副村長
出席委員	高瀬 達夫 田代 雅子 渡邊 宏 福島 洋次郎 工藤 秀行 菅谷 友和 (代理: 松下ひとみ氏) 横川 辰彦 工藤 弘美 山岸 忠政 (代理: 山岸康範氏) 古畑 幸信 小岩井 清志	信州大学工学部水環境・土木工学科准教授 (Web で参加) 公募委員 公募委員 一般社団法人白馬村観光局事務局長 アルピコ交通株式会社白馬営業所長 アルプス第一交通株式会社大町営業所所長 白馬村教育課長 白馬村健康福祉課長 国土交通省北陸信越運輸局長野運輸局支局長 (Web で参加) 東日本旅客鉄道株式会社白馬駅長 南安タクシー有限公司代表取締役社長 (オブザーバー)
	※敬称略・順不同	
欠席者	太田 文敏 鯛縄 尚行 薄井 浩章 風間 雅裕	白馬村民生児童委員協議会長 有限会社白馬交通代表取締役 アルピコタクシー株式会社大町支社長 白馬観光タクシー株式会社代表取締役
事務局	鈴木 広章 矢口 浩樹 内藤 優太	白馬村観光課長 白馬村観光課観光商工係長 白馬村観光課観光商工係
会議次第	開会 1. 委員長あいさつ 2. 会議の公開について 3. 会議事項 (1) 第2回の指摘事項について (2) 計画の基本方針及び目標設定と実施施策の検討 ・第2回の指摘事項について【資料1】 ・白馬村地域公共交通計画(素案)【資料2】 4. その他 閉会	
配布資料	○資料1: 第2回の指摘事項について ○資料2: 白馬村地域公共交通計画(素案)	

発 言 者	発 言 内 容 等
工藤副委員長	工藤副委員長から開会のことば
委 員 長	<p>1. 委員長挨拶</p> <p>・本日は年の瀬の迫る中、お足元が悪い中お集まりいただきありがとうございます。今年のシーズンにつきましては、早い降雪に恵まれてゲレンデ状態がいい状況となっています。その一方で、世の中の情勢と一緒に人員不足によりゲレンデすべてがオープンできていないスキー場もあると聞いています。</p> <p>とはいえ、先週から人もそろい始め村内でもインバウンドの方も見られてきています。本日は第三回の地域公共交通検討委員会ということで、新聞紙上ではインバウンドをはじめとした観光客に対する AI デマンドやナイトデマンドタクシー等が取り上げられていますが、観光交通だけでなく住民目線も必要となってきます。前回の内容を踏まえ、活発な意見を出していただければと思います。</p> <p>なお、本日はWEBでの参加者もいますので、うまく進行をさせていただければと思います。簡単ではございますが、開会にあたっての挨拶とさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。</p>
事 務 局	<p>2. 会議の公開について</p> <p>・本委員会の設置要綱に基づきまして原則一般公開とさせていただきます。</p>
事 務 局	<p>3. 会議事項</p> <p>・それでは会議事項に入ります。ここからの司会は吉田委員長お願いいたします。</p>
委 員 長	<p>・本日の会議のポイントは、第2回検討委員会で整理した課題に対して基本方針の設定とそれに対する計画目標そして具体的な施策、事業計画の検討になります。それでは、本日の2つの会議事項について、事務局より説明をお願い致します。</p> <p>(事務局より資料1の説明)</p>
委 員 長	<p>・はい、ありがとうございました。それでは資料1について、出された委員さんがいらっしゃいますので、回答に対する意見を順に伺い、そのあと、何か意見がございましたら、伺いたいと思います。高瀬委員、確認する点等ございますか。</p>
高 瀬 委 員	<p>・指摘事項については、後でまとめて発言したいと思います。</p>

委 員 長	<p>・ありがとうございます。資料1について他にありますか。無いようなので、資料2について説明をお願いします。</p> <p>(事務局より資料2の説明)</p>
委 員 長	<p>・質疑の方に移りますが、ボリュームがありますので、それぞれの章で区切って質問を受けたいと思います。まず、第7章について質問を受けます。</p>
委 員 長	<p>・103 ページについて、(2) 計画期間にて「白馬村総合振興計画」とありますが、正しくは「白馬村総合計画」ですので、訂正をお願いします。</p> <p>・続いて第7章についてご意見等ございますか。無いようなので、第8章について質問を受けたいと思います。</p>
高 瀬 委 員	<p>・111 ページに糸魚川方面の話が出ていますが、松本方面においても利用促進を図るような取り組みを追加するべきではないでしょうか。</p>
古 畑 委 員	<p>・J R 西日本では、糸魚川方面についてバスを利用していろいろやっておりますが、J R 東日本としまして、松本方面に数多く特急列車や臨時列車などを出しております。12月28日から30日、1月2日から5日の間ですが、特急白馬号ということで、現在定期であずさ5号が入っていますが、2往復特急の車両を使用して松本から入ってくるとか、夏もアルプス号が3連休に新宿を金曜、土曜に出て、白馬に6時22分に到着する臨時列車を運行しています。この冬も夏もいろいろ考えている。通常ダイヤでいいますと、雪国ということで、冬季については、除雪の手配もかなりあることから臨時列車の設定はかなり難しい状況であります。そういうこともありまして、極力夏の臨時列車や隙間があれば、臨時便の検討を進めていきたいと思います。来年の3月にダイヤ改正がありますが、定期の特急あずさ号の他に、臨時のあずさ号を運行するという事になっておりますので、その辺はカバーできていると思います。地域の方が使いやすい足ということもありますので、皆さんの意見を聞いて、ダイヤの設定等考えていきたいと思います。</p>
渡 邊 委 員	<p>・私は千葉県出身で、千葉発のあずさ号を利用したことがあったんですが、私は宿泊業をしていて、それを利用してくださいと言って来るお客さんが便利だと言っていました。個人的な意見として復活して欲しいです。</p>
高 瀬 委 員	<p>・J R 東と西が混在している大糸線ですが、住民の交通として、松本方面についても何らかのものがあつた方がいい。</p>
田 代 委 員	<p>・現在は、東京まで行くの際は長野駅まで車で行き車をおいて、その後電車も</p>

	<p>しくはバスに乗るルートが主だと思われます。あずさ号と大糸線1本で東京までアクセスできるルートがあるといいと思います。東京から来るインバウンドの方も、あずさから大糸線を使って白馬に来る方が増えると思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>・白馬と東京の利用は多いと思いますが、計画に盛り込むのはなかなか難しいので、事業者と一緒に考えて調整していく中で検討を進めるといった旨に変更するのがよいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>・松本方面へのアクセスについての文言を追加します。</p>
<p>古畑委員</p>	<p>・特急あずさ号については、現在新宿から南小谷まで直通運転を行っています。臨時のあずさ号も新宿から松本まで行って、そこから乗換えるのに、同ホームでの乗り換えができるようにしています。本来なら白馬まで直通運転ということになるのですが、車両が足りないという問題と検修周期の関係という制度面の問題で、白馬までの直通運行は難しい状況となっています。</p>
<p>渡邊委員</p>	<p>・114ページの「JSTS-Dガイドライン」の説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>・日本版の観光地を世界基準に合わせた時にどのくらいの水準にあるかを示すもので、いろいろな分野がありますが、交通や環境分野もあるため施策として取り入れました。</p>
<p>委員長</p>	<p>・脚注として説明を追加してください。計画の中で、そのほかにも横文字が出てくるので、脚注にするか後ろの用語集にするか事務局の方で検討してください。</p>
<p>工藤委員</p>	<p>・106ページにて、近隣自治体へのアクセス性の向上とあります。現在白馬村にない医療機関、例えば癌科とか専門性の高い整形外科、総合病院へは村外へ行く用になっています。現在は、デマンドなどを使い駅へ行くというのが主な公共交通機関の利用形態となっています。各市町村でデマンドのような交通を運行しているので、市町村間で乗り継ぎができるようになれば新たな移動方法として活用できるのではないのでしょうか。今回の計画期間に入れるかどうかはわかりませんが、いろんな可能性が広がると思いました。そうすると、アクセスの拠点が駅だけでなく、次のところに行く拠点も必要になってくると思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>・自治体で計画を作成していることから、自治体で完結しているような内容となっています。そのなかで、自治体間を超えた検討・研究が必要ではないかということも北アルプスの広域圏内の総合計画の中で触れており、長野県の方で</p>

	<p>も圏域で考えていく内容で協議されている。高瀬委員の方から、アドバイスや情報共有等あればお願いします。</p>
高瀬委員	<p>・長野県公共交通活性化協議会北アルプス地域部会の会議は来月あり、資料はまだいただけていないため、提供できる情報はありません。</p>
委員長	<p>・工藤委員のご意見内容を県等より伺っていますが、間違いはないでしょうか。</p>
高瀬委員	<p>・そのような方向で進んでいます。</p>
委員長	<p>・本村の計画でも、白馬村で完結するものではなく周辺と連携した内容を追記してください。</p>
事務局	<p>・ふれAI号のシステムを他の自治体でも導入するような検討が進んでいます。こういった内容を踏まえて、村を超えた移動についても可能となるように検討を行うことを追記します。</p>
高瀬委員	<p>・塩尻市のデマンド交通は、松本市の病院に一部乗り入れられるようになっていきます。そのため周辺自治体との連携や合意形成が大事になってくると思います。</p>
小岩井委員	<p>・事業の活性化という点ですが、小谷村も松本空港までのデマンドの乗り合い路線があります。白馬村でも空港までのアクセスについて検討を行ってもいいと思います。運行ルールで片足が、松本空港である必要がありますが、その変形として路線化ということもあります。</p>
事務局	<p>・JSTS-Dの多様な受け入れ環境の整備に関わる部分かと思います。広域的な取り組みになることから、検討といった形で組み入れられればと思います。</p>
委員長	<p>・107ページにあります、福祉輸送サービス事業の利用要件は掲載して問題ないでしょうか。</p>
工藤委員	<p>・福祉輸送サービスは、現在の要件を広く解釈できる形で取り組んでいます。車いす利用の方をベースに考えていますが、介護度によって検討委員会にて協議するような形になっています。要件については、社協の方で公表しているものなので問題ないと思います。</p>
委員長	<p>・念のため、確認をお願いします。 ・第9章について質問を受けたいと思います。</p>

高瀬委員	・指標2について、不成立数を減らすには車の台数を増やすことになると思いますが問題ないでしょうか。
事務局	・現状が1日平均7人となっていますが、乗車可能な時間帯もあり平均5人が車両台数における最大値となるためこのように設定しました。
高瀬委員	・利用者を増やそうという方向性で行くならば、利用者側で効率的な利用を促進する必要があります。利用者が増えれば今の台数では不成立数が増える懸念があり、指標として達成できるか心配です。
事務局	・12月1日から自宅内乗降を増やしたところです。これからも増えることを見込んでおります。財政的にも車両台数をのべつ幕なしに増やすことはできませんので、指標2については載せるかどうか再検討したいと思います。
委員長	・この交通計画自体は、この会議で決められる部分なので、主体性をこの公共交通としてどう考えるかという視点と、事務局が行政サイドでやっているの、潤沢に予算を確保できればいいのですが、ちょっと今のお話のとおり、内容について少し検討をお願いします。
田代委員	・指標4のスクールバスの乗車率の目標値はどのような根拠から設定していますか。
事務局	・教育委員会と調整した中で設定しています。横川委員が途中退出しているため、次回お伝えさせていただきます。
田代委員	・個人的な意見ですが、20年程前は徒歩通学が当たり前でした。夏の気温や降雪量など環境の変化はありますが、歩いて通学できる距離の人については将来的な健康のためにも歩いた方がいいと思います。乗る必要が無い人を乗せて乗車率の向上を図るのではなく、必要に応じて車両の大きさを変えることで乗車率の向上を図る方が環境面でもいいと考えます。
委員長	・スクールバスについては、学校や保護者などにより様々な意見があります。その中で、登校と下校の乗車率のバランスが取れていないといった意見もいただいています。根拠については、追って報告いたしますが様々な意見を考慮した上で数値を設定していると思います。
事務局	・乗車する児童の数は把握しています。乗車率の向上のための車両変更については教育委員会と調整を図りたいと思います。

菅谷委員 (代理：松下氏)	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールタクシーについて、予約制であることから無駄の少ない運行ができていると思います。 ・第2回検討委員会で話に上がりました、白馬駅前のあずさ号到着時の混雑によりタクシーがタクシー乗り場を利用できない件についてはどうなりましたか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・解決策には至っていませんが、関係者と危機感を持って協議等をしています。福島委員や古畑委員で情報提供等いただけるのであればお願いします。
福島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前振興会とも交流がありますが、なかなか解決策が見出せておらず検討を進めているところです。
古畑委員	<ul style="list-style-type: none"> ・松本駅や長野駅のように一般的には、駅の建屋はJRの持ち物で、ロータリーは行政が持っているというイメージです。白馬駅のロータリーは特殊で半分がJRで半分が県の所有となっています。ロータリーも狭く、土地自体が無いため、難しくなっています。大規模にタッグを組んでやっていく必要があります。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・短期間で解決する問題ではないので、引き続き検討を進めていきたいと思えます。
菅谷委員 (代理：松下氏)	<ul style="list-style-type: none"> ・現状、タクシーのオペレーターとして来たタクシーに乗ってくださいと案内するしかない状況にあります。村の玄関口としてタクシーがないのは観光客としても不便であると思うので、今後の改善をお願いします。
工藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・指標3の目標値の利用者数は延べ数でしょうか。6年間で10倍の利用者数となるのか懸念されます。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は延べ数です。追記します。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・事業スケジュールについて、計画期間内で目標値を達成した際は目標値の修正を行うべきか。それとも目標値の更新はしない方がいいのでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・126ページに記載がありますが、中間見直しを行い目標値の更新する予定です。事業スケジュールでもそれが分かるよう修正を行います。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしいでしょうか。 今回、意見ででた内容を反映したうえ、後日、再度皆様に計画（案）を確認し

事務局	<p>ていただきます。</p> <p>その他について事務局何かありますか。</p> <p>・いただいたご意見を計画に反映し、1月中旬に皆様にお示しし、1月中旬から2月中旬にかけてパブリックコメントを行い、村民の意見を伺います。それを踏まえた上で、第4回検討委員会を2月末に行いたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。</p>
委員長	<p>・わかりやすく、新旧対照表などで整理してお示ししてください。以上で会議事項は終了となります。</p>
事務局	<p>4. その他</p> <p>・観光シーズンが始まり、現在の状況について報告させていただきます。この冬から、ナイトデマンドタクシーの運行とUberタクシーの導入を始めています。ナイトデマンドタクシーの現在の利用状況ですが、昨日は123人の送迎があり配車不成立数については12件でした。運行開始から一日当たり100人、多い日は200人程の利用がありました。通勤等、住民の利用者が増えているなかで、住民と観光客の推移にも注視していきたいと思えます。</p> <p>Uberタクシーについては、12月24日は1845件と多くのリクエスト数がありました。23台のタクシー車両を稼働していましたが、実際乗せた方が349人で、需要の方が多い状況にあります。60台くらいないと対応できないので、車両台数についてはタクシー事業者と調整する中で検討していきたいと思えます。</p> <p>・第4回検討委員会を2月末に行いたいと考えております。日程詳細が決まりましたら開催通知を送付いたしますのでよろしくお願いいたします。では、閉会を工藤副委員長お願いいたします。</p>
工藤副委員長	<p>・以上をもちまして、第3回白馬村地域公共交通検討委員会を終了いたします。お疲れ様でした。</p> <p>5. 閉会</p>

以上